

プレスリリース

2025年9月29日 3:00 pm

ベルソウッド、UPMのコッケアコスキ製材工場を買収

ベルソウッドは、本日UPMのコッケアコスキ製材工場の買収を発表しました。同時に、ベルソウッドの製材副産物およびパルプ材に関する幅広いパートナーシップを築くことで、双方に相乗効果がもたらされます。これにより、UPMはベルソウッドの少数株主となります。

ベルソウッドはフィンランド最大の家族経営の製材会社であり、この買収によりフィンランドで最大の、そしてヨーロッパで10位に入る製材会社となります。ベルソウッドとコッケアコスキ製材工場を合わせた総売上高は7億ユーロを超え、製材量は年間約200万m³、従業員数は約1,000人になります。

フィンランド当局の承認が必要であり、最終的な発効は2025年末となる見込みです。

コッケアコスキ製材工場は、パイン材を年間35万m³生産しています。従業員数は約80人で、ベルソウッドに引き継がれます。コプラ家は、1988年にコッケアコスキ製材工場をユフティネート・パーペリテフト社（現在のUPM）に売却しました。

ベルソウッドのヴィレ・コプラCEOは「再びコッケアコスキ製材所のオーナーになることは、とても感慨深く、懐かしい気持ちです。私はこの製材所のそばで育ちました」と言います。

コッケアコスキ製材工場の取得により、ベルソウッドの木材調達地域は拡大し、丸太使用量は年間350万m³を超えることとなります。「同時に、副産物およびパルプ材においてUPMとの協力を拡大していきます」と、コプラ氏。

UPMは2025年夏にコッケアコスキ工場の製材ラインを改修しており、工場の状態は良好です。ベルソウッドグループは、木材市場での地位を強化し、家族経営の木材調達・加工会社としてより強力なプレイヤーとなることで、これからも日本のお客様に製品を供給し続けてまいります。

ベルソウッドの製品には、通常の製材品に加え、かんな掛け材、含浸材、等級材、フィンガージョイント材、塗装材、集成材、木橋、電柱、木質ペレット、木製梱包材などがあります。

詳しい情報は下記まで：

Ville Kopra, CEO, Versowood Oy, tel. +358 50 023 5701, ville.kopra@versowood.fi

